

Sumida Triphony Hall Presents

《ロシア・ピアノの継承者たち》(全6回)

# Heirs of Russian pianism

現代の継承者たちの新たなる響きに  
ロシア・ピアノの血脈  
その偉大な精神の系譜を聴く

Vol.1  
第1回

スクリャービンの孫であり、  
リヒテルとギレリスが神と呼んだ大ピアニスト  
ヴラディーミル・ソフロニツキーの愛娘、  
ヴィヴィアナ初来日。

ショパン在世当時の楽器を復元した  
プレイエル製フォルテピアノで贈る、  
ショパン・イヤーのフィナーレを飾る特別な一夜。

F. ショパン：  
Frédéric Chopin：  
華麗なる変奏曲 変ロ長調 Op.12  
バラード第1番 ト短調 Op.23  
ワルツ第10番 ロ短調 Op.69-2  
ポロネーズ第1番 嬰ハ短調 Op.26-1  
ポロネーズ第5番 嬰ヘ短調 Op.44  
マズルカ第48番 ヘ長調 Op.68-3  
マズルカ第49番 ヘ短調 Op.68-4  
夜想曲第2番 変ホ長調 Op.9-2  
夜想曲第13番 ロ短調 Op.48-1  
夜想曲第20番 嬰ハ短調 遺作  
(レント・コン・グラン・エスプレッシオーネ)

# Viviana Sofronitsky

[Fortepiano]



使用楽器：  
ポール・マクナルティ作  
「プレイエル復刻フォルテピアノ」

ヴィヴィアナ・ソフロニツキー  
[フォルテピアノ]

2010.12.26[日] 15:00開演 (14:30開場)

料金[全席指定]: S¥5,000 A¥4,000 (トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可)

第1~3回(全4公演) ★お得なセット券、同時販売開始! ※詳細は内面をご覧ください。

★前売開始: 9月26日(日)

ご予約・お問合せ ●トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン <http://www.triphony.com>

チケットご購入の皆様へ!!  
「フォルテピアノ・レクチャー」を開催!

本公演使用楽器の製作者ポール・マクナルティ自身が、  
実際の楽器で「フォルテピアノ」の魅力について解説します。

■12月26日(日) 13:00~

■すみだトリフォニーホール・大ホール

※ご入場の際ホール入口にて、本公演チケットをご提示ください。

すみだトリフォニーホール



## スラヴの大地を思わせる濃厚な抒情—— 世界に冠たるロシア・ピアノ主義の 伝統を目の当たりにするシリーズ

音楽史の中のピアノ主義を俯瞰するとき、ピアニストの出自というメンタリティは重要な要素のひとつである。それは出生地のみならず、教育を受けた国のメソッドに大きく影響を受ける場合もある。もちろん現在の世界的なグローバル化の中ではその意味は希薄になってしまっているものの、それでも作曲家が残した楽譜のみならず、直接師から弟子へ連続と続く細かいファクターやテイストにこそ、作曲家の真実が隠されていることが多い。

そのピアノ主義は、ドイツやフランスなどに大きな潮流が存在するが、一際巨大な系譜を構築しているのがロシアである。

ロシアで鍵盤楽器が使用され始めたのは、18世紀である。その後19世紀に入ると、イタリアのクレメンティやアイルランドのフィールド、そしてワイマールのリストなどによって、次々と西欧のピアノ主義が伝播するようになった。彼らはロシアに演奏旅行し、行く先々で弟子に指導し、それが徐々に、しかし広範囲に浸透していったのである。その結果、世界に冠たるロシア・ピアノ主義の潮流が生まれた。

では、ロシア・ピアノ主義の特質とは何か。紙幅もあまりないのでごく簡単に説明すると、美しい音、重厚なダイナミズム、そして叙情性である。即ち、透明度が高く、倍音を限りなく含んだ色彩豊かで芳醇な音色を駆使しながら、リストが伝えた鍵盤の底から響き渡るような重量奏法によって、煌くように舞う高音の光彩、爆発するかのような情熱、そしてみずみずしい潤いを湛えた比類ない抒情を創出するのがロシア・ピアノ主義なのである。

そのロシア・ピアノ主義には、四つの大きな潮流が存在する。

まずひとつ目は、フンメルやフィールド辺りから派生し、チャイコフスキーやラフマニノフ、スクリャーピンなどを輩出した派と、チェルニーを端緒とし、レシェティツキからサフォノフを経た派が統合された一大派閥だが、その中にスクリャーピンを義父とする伝説の名ピアニスト、ウラディーミル・ソフロニツキーがいた。N.ルビンシテインの弟子やミヤウオフスキにも薫陶を受け、繊細極まりないタッチとニュアンス、また類稀な叙情、自在なフレーズやルバートでショパン、スクリャーピンを初めとする幅広いレパートリーを演奏、数多くの熱狂的なファンを獲得した。その神とも崇められたピアニストから生まれたのが**ヴィヴィアナ・ソフロニツキー**である。モダン・ピアノではなく、フォルテピアノでの演奏ではあるが、その父親譲りの突出した個性は神秘的な雰囲気を出す。

続いて2つ目は、ネイガウスを領袖とし、ブリュメンフェルトを経て膨大なピアニストの系譜を形成するネイガウス派である。リヒテル、ギレリスを初めとして錚々たるピアニストが顔を並べているが、ゲンリヒ・ネイガウスの最後の弟子であり、またネイガウスに師事したナウモフにも薫陶を得たのが**アレクセイ・リュビモフ**である。現代音楽から古楽に至るまで飽くなき探究から得た深い造詣を示し、正統的で説得力のある解釈には、伝統の重みが感じられる。

さて3つ目はモスクワ音楽院とペテルブルク音楽院を創設したルービンシテイン兄弟の系譜であり、最後の4つ目はバブスタからイグムノフ、そして第1回チャイコフスキー国際コンクールのピアノ部門で審査委員長を務めたゴリデンヴェイゼルなどを輩出し、ネイガウス派に勝るとも劣らない巨大潮流を築き上げた系譜である。そのゴリデン先生に学んだ名教師バシキーロフに指導を受けたのが、**ニコライ・デミジェンコ**なのだ。バシキーロフ門下からは、ペーター・レーゼル、アルカディ・ヴォロドス、リコ・グルダ、ドミトリ・アレクセーエフ、ワディム・ルデンコ、ダン・タイ・ソンなど現代の人気ピアニストが巣立っているが、明晰で透明感に溢れるタッチ、大自然の摂理を説くように壮大なスケールをもって抒情豊かに歌い上げるゴリデン先生の伝統をしっかりと踏襲したピアノ主義は鮮烈だ。

いずれにせよ、世界に冠たるロシア・ピアノ主義の伝統を目の当たりにするシリーズであり、スラヴの大地を思わせる濃厚な抒情に悠揚と身を委ねてみたい。(真嶋雄大/音楽評論家)

Vol.1  
第1回



フォルテ  
ピアノとは？

Vol.2  
第2回



Vol.3  
第3回



Vol.4~6 予告

お得な  
セット券

第1~3回(全4公演)セット  
★9月26日(日)一般販売(トリ  
ニコライ・デミジェンコ2公演)  
★前売開始:12月発売予定(12月)

前売り: e+(イープラス) <http://eplus.jp>

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:11)

ご予約・お問合せ: トリフォニーホールチケット  
トリフォニーホールチケット



Sumida Triphony Hall Presents

《ロシア・ピアノの継承者たち》(全6回)

# Heirs of Russian pianism

現代の継承者たちの新たなる響きに  
ロシア・ピアノの血脈  
その偉大な精神の系譜を聴く

世界的なピアニスト系譜の中でも、最も重要かつ巨大な系譜を形成するロシア・ピアノ。ここから輩出されたピアニストたちの数、資質は、世界でもトップクラスの水準を堅持している。その源泉である19世紀の“伝説のピアニスト”たちから受け継がれてきた連続と続く潮流の中で、最も際立った特徴を見せる継承者たちによる現代のロシア・ピアノのエッセンス。

Vol.1

第1回



## Viviana Sofronitsky

ヴィヴィアナ・ソフロニツキー [フォルテピアノ] *[Fortepiano]*

スクリャービンの孫であり、リヒテルとギレリスが神と呼んだ大ピアニストウラディーミル・ソフロニツキーの愛娘、ヴィヴィアナ初来日。

ショパン在世当時の楽器を復元したブレイエル製フォルテピアノで贈る、ショパン・イヤーのフィナーレを飾る特別な一夜。

2010.12.26(日) 15:00開演(14:50開場)

Vol.2

第2回



## Alexei Lubimov

アレクセイ・リュビモフ [ピアノ] *[Piano]*

すさまじい超絶技巧ときわだった感覚が比類ない美的世界を作り出す。伝説のピアニスト、ゲンリヒ・ネイガウス最後の弟子であり、現代のロシア・ピアノをきっての鬼才。

2011.4.23(土) 18:00開演(17:50開場)

Vol.3

第3回



## Nikolai Demidenko

ニコライ・デミジェンコ [ピアノ] *[Piano]*

ロシア・ピアノの主流を行く抒情的演奏を具現化する、卓越した技巧美の極致。一大潮流である名教師アレクサンドル・ゴリデンヴェイゼルの流れを継承する名匠。

第1日 [リサイタル] 2011.6.4(土) 18:00開演(17:50開場)

第2日 [協奏曲] 2011.6.5(日) 15:00開演(14:50開場)

指揮: ヴァシリス・クリストプロス *Vassilis Christopoulos*

管弦楽: 新日本フィルハーモニー交響楽団 *New Japan Philharmonic*

Vol.4~6 予告

第4~6回は2011年~2012年に開催予定 近日発表

第1~3回(全4公演) ★お得なセット券、同時販売開始! ※詳細は内函をご覧ください。★前売開始: 9月26日(日)

ご予約・お問合せ ●トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン <http://www.triphony.com>

すみだトリフォニーホール